

【所感】

長崎市議会議員 筒井 正興

夜景サミット 2016in ベトナム訪問団報告書

ベトナム戦争終結後の経済成長著しいベトナムについて期待と好奇心をもって視察に参加しました。

しかし、結論から言うと、期待は裏切られたという思いです。

夜景については、上海の夜景や日本の現状を思い描いていたのでこんなものかという思いでした。特に感想もないというのが正直なところです。

J E T R O（日本貿易振興機構）については、日本とベトナムの発展的な貿易の振興を手助けするという事で、私達が普段目にする日本側から見た地理的な位置ではなく、ベトナムから見たアジアの地理に基づく日本との関係や J E T R O の事務所、近隣に建設中のビルの状況等を見学させていただきながら、日本との貿易の拡大の大切さについてご意見を伺いました。

その後に訪れた日越をつなぐ産業人材育成校 E S U H A I（エスハイ）の視察においては、日本に対するベトナム人の期待の大きさが印象的でした。日本での職業訓練はもちろんの事、わずか短期間での日本語の習得や職場に慣れるための礼儀作法等については、私達が改めて見直さなければならぬくらいの熱意が感じられました。

戦争証跡博物館においては、ベトナム戦争の記念館、長崎においては原爆資料館のようなものでしたが、ある意味原爆とは違って人間はこんなにも惨い事ができるのだろうか、改めて戦争の惨さを思い知らされたものでした。

私は 1 月にポーランドのアウシュビッツを見学する機会がありましたが、そこには一方の当時国のドイツ人が多く訪れておりました。又、ベトナムではアメリカ人らしき人達が多く見学に訪れていた事を思うと、戦争についてその惨さを知る事によって改めて不戦の思いを強く持つ事ができました。

冒頭、期待は裏切られたと述べましたが、私はむしろこれが今のベトナムであって、自分勝手な思いではありますが、できれば近代化されるよりこのような状況で残す事のほうがパワーあふれるベトナムを維持できるような思いがしてなりません。いずれにしろ E S U H A I 等を通し、両国の関係が友好的に発展する事を望む視察でありました。